様式３(2020.06改)

作成日　令和　3 年　10 月　27 日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370200418
事業所名	グループホームちから館とくがわ

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	自治会に加入し、会費を納めている。回覧板を通じて地域の一員として関わり、地域情報を得ている。毎日の施設や駐車場周辺の清掃の際には、地域住民と挨拶を交わし、住民との関係性を深めている。介護相談の電話には、問い合わせの内容に応じてアドバイスやパンフレット等を配布して、認知症専門機関としての機能を果たしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	運営推進会議は年6回定期的に開催し、包括職員、民生委員、学区連絡協議会代表、自治会長、職員で構成されている。昨年度に引き続き、参加者には議事録を郵送し周知し、返答をもらっている。会議では運営報告や勉強会を行い、運営の実情を伝え認知症ケアの理解や知識向上に繋げている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	区の介護福祉課には毎月ホーム便りを届けて運営の実情を周知し、何かあれば相談できる関係性を築いている。感染症対策では、都度電話で相談し状況に応じた対策を取り入れている。活き活き支援センター主催の家族教室の講師の依頼を受け、協働関係を築いている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	毎月「ちから館たより」を発行し、日常の様子を写真で伝えている。それとは別に写真も数枚同封して、家族に喜ばれ安心して頂いている。コロナ禍で面会は制限や感染対策をして実現している。何かあれば都度電話をして近況を報告し、入居間もない利用者家族には頻回に様子を報告する等の配慮をして、家族との信頼関係を深めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価		○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎									